

学校だより



戸塚小だより

川口市立戸塚小学校
令和6年11月1日
電話048(295)1810
児童数 687名

笑顔いっぱい 夢いっぱい 未来へはばたけ戸塚っ子



大貫海浜学園



校長 林 奈緒美

10月、5年生が大貫海浜学園に行ってきました。

川口市立大貫海浜学園は、実に80年以上の歴史をもつ川口市独自の施設です。毎年、川口市全小学校の子どもたちが訪れて、海辺の自然に触れ、友達と寝食を共にする集団生活を経験します。かつては6年生を対象としていましたが、平成16年より5年生が対象となり、平成28年には、3泊4日から2泊3日に変わりました。その後、新型コロナウイルス感染症の流行により休園となった年もありましたが、日帰りの形で再開し、現在は1泊2日で実施されています。

規模は縮小されたものの、泊を伴うこの行事は、子どもたちにとって、そして引率する教員にとっても一大行事です。お客様としての旅行ではないわけで、自分自身のことができること、ルールに沿った行動がとれること、協力し助け合えること、それぞれが役割と責任を果たすこと…、事前学習と準備が重要です。本校5学年の廊下には1学期より「大貫海浜学園—挨拶・礼儀、思いやりとメリハリ」との掲示がなされていました。大貫に向けて、また、大貫という行事を通して、児童の生活意識を高めようとする学年担任の思いが伝わります。そして迎えた大貫本番は、実行委員の見事に明るく爽やかな出発式の進行に始まりました。

学園に着いたと思ったら、もう帰り…？どの子もそんな印象を持ったことでしょう。1泊の中では、それほど多くの活動はできません。でも、子どもたちは嬉々として貝殻を拾い、大貫名物の「はかりめごはん」や「アジフライ」を味わい、各部屋で仲間との時間を楽しんでいました。入浴時、教員は手ぶらで浴室に入っていく子呼び止め、髪はしばらく浴槽に入れられないよう指示し、浴室を出る前にしっかりと体を拭き上げるのを見届けます。

「タオルは持った？」「バスタオルは脱衣所に置いておくよ。」「背中がびしょびしょだよ。」慣れない食事の配膳や寝具の片付けに戸惑う場面が見られるのも毎年のこと。それらも初めての学びとしていければ万々歳です。子どもたちには、ルールを守ってみんなで気持ちよく過ごそう、役割を果たして活動を楽しもうという気持ちが随所に現れていました。2日目の朝食時には、その行動が格段に良くなりました。同じ注意を繰り返さない、話をよく聞く、自分の役割を果たす、みんなで気持ちと行動をそろえる…。副学園長さんから、その良い素直さをたくさん褒めていただきました。班長がリーダーシップを発揮したこと、班長の指示を聞き活動を支えるようにみんながメンバーシップを発揮したこと。真剣に話に耳を傾けていた5年生のくりくりの瞳、生き生きとした表情が、印象的でした。

その時々へのすべきことに精一杯取り組み、そして楽しむこと。5年生が発揮した前向きな姿が、これからの戸塚っ子にも引き継がれていくことを、大貫海浜学園で過ごした時間が子どもたちの中で、何かしらのプラスの力、財産となっていくことを、今年度も密かに願っています。